

オオサカン楽員の 楽器の小屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第12弾は「クラリネット奏者 竹田 陸人！」//
楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

クラリネット
竹田 陸人 Rikuto Takeda



現在使っている楽器のメーカー名・モデル名は？

- ①B♭クラリネット Backun(バックーン) Lumière(ルミエール)
- ②Aクラリネット Backun(バックーン) Lumière(ルミエール)



とても硬く水に沈む木材のグラナディアが楽器本体には使われており、クリアで力強く芯のある音色が特徴です。Lumièreは、クラリネットという楽器の常識を根本から覆すアイデアが随所に盛り込まれています。また、楽器のデザインが独創的で、キイはシルバーですが、キイポストはゴールドとなっており、印象的でとてもオシャレな楽器です。クラリネットの楽譜は様々な調性で書かれており(調によってドの音が変わる)①B♭管と②A管を使用します。②の方が管が長く、①は明るい音、②は柔らかく深みのある音で、吹奏楽では主に①を使用します。



パーツに関して教えてください。

◆リード Légère(レジェール)European cut 3.50



入団前までは葦のリードを使っていたのですが、先輩方から色々話を聞いてLégèreを試してみたところ、「どうしてももっと早くこのリードに出会うことができなかったのだろう」と後悔するほど、僕にとって良いリードで、それからすぐに使うようになりました。Légèreの素晴らしいところは、クオリティがとにかく安定していることです。日によって変動することが少なく、安心して演奏に臨むことができます。また、弱奏から強奏まで自在にコントロールができ、今はもうLégère無しでは演奏できないと言っても過言ではありません。

◆マウスピース Backun Signature Series McGill(マクギル) Backun Signature Series Hawkins(ホーキンス)



同じメーカーの楽器とマウスピースの相性は言うまでもなく完璧なので、より楽器の可能性を引き出してくれています。普段は、豊かで伸びのある音色が持ち味のMcGillを使用しています。鋭いサウンドが要求される場合は、Hawkinsを使用することもあります。

◆リガチャー SILVERSTEIN(シルバースタイン) Ligation HEXA Champagne Gold



上記でご紹介したリードとマウスピースにこのリガチャーをつけると、音の厚みと響きを増幅させてくれます。特に高音域の音色が魅力的です。

◆ベル Backun Essence(エッセンス)



2025年の7月にプレスリリースされたBackun社の新製品のベルです。金属のリングがあることで、より芯のある音色を生み出してくれます。

現在使っている楽器を選んだ理由や気に入っているところは？

入団前からBackun社の楽器にずっと興味はあったものの、一度も手に取ったことがありませんでした。しかし初めてオオサカンにエキストラとして呼んでいただいた際に、楽員の方がBackun社の楽器でセクションの音作りをされているのを目の当たりにし、より興味が深まりました。その後、契約楽員として楽団に所属させていただくこととなり、この楽団でやっていくにはBackun社のクラリネットが絶対に必要だと思い購入しました。Backun社の楽器の持つ力は想像以上のものでした。柔軟で繊細で、尚且つ力強さもある音色は、今までクラリネットを吹いてきた中で唯一無二のものだと思います。中でも僕が使用しているLumièreは明瞭且つ澄んだ音色で、自分の吹きたいように楽器が素直に鳴ってくれるため、表現の幅を広げることのできる魅力的な楽器です。オオサカンではクラリネットの響きがサウンドの核となっており、その役割を担う上でこの楽器との出会いは革命的なものだったと感じます。Backun社の楽器は倍音が豊かで、他の楽器と融合した音色を構築する点でも長けています。また、soloなどの場面ではクラリネットの音色を際立たせることも容易です。本当に多くのことを実現させてくれるこの楽器を心から愛しています！

楽器ケースについて教えてください。



この楽器ケースは、ブラジルの楽器ケースメーカー、Marcus Bonna(マーカス・ボナ)社のものです。個性的なデザインで、こちらはなんとクロコダイル革で作られています。滅多に見かけることがなく、そして何と言ってもカッコイイこの質感が最高です。ケース内の収容量が多く、楽器を2本持ち運ぶ際にもリガチャーやマウスピース、その他の小物や楽譜を入れるスペースがたくさんあり、このケースひとつでほとんど全てのものが収まります。とても便利なケースです。

練習の際、常に持ち歩いているものは？

- ①Galax(ギャラクス)のクリーニングペーパー、②La Tromba(ラ・トロンパ)のホルングリス、③チューナー、④鉛筆をミッキーマウスのポーチに入れてあります。楽譜への書き込みはシャープペンではなく鉛筆を使うのがこだわりです。そして、中でも一番大切なものはBREATH TAKING(プレステイキング)の⑤ストラップです。以前使用していたものは、楽器を支える負担が首にかかっていましたが、このストラップは背中へと逃がしてくれるため、プレスをする際に妨げられることなく、ストレスなく楽器を演奏することができます。



楽器を演奏する時に大事にしていることは？

常に全体の響きを聴くことです。また、クラリネットセクションの状態を把握すること、他の楽器との連携を図ることの両面を意識する必要があります。瞬時に自分の立ち位置を把握するように努めています。同じフレーズを持つ楽器の組み合わせやバランスでサウンドが変わってしまうため、どのようなサウンドを作り演奏するのかという点は吹奏楽ではとても大切なことだと思います。それに加えてどうフレーズを作るか、この楽譜が訴えかけたいことは何なのか、といったことも同時に意識しながら演奏に臨んでいます。

あなたにとって「クラリネット」とは？

僕の分身です。これまでの人生で経験したことが演奏に反映されているので、さらに演奏に磨きをかけて、より多くのものに触れ、たくさんの経験を得たいと思っています。中学生でクラリネットを始めてから日々ずっと一緒に過ごしてきて、苦楽を共にしてきたからこそ分かち合えるところもあれば、まだまだ知らない一面もあるので、これからも生涯をかけて一緒に音楽ライフを送っていきたいです。そして、クラリネットや音楽を通じて、多くの人と繋がり、感動を届けたいと思っています。

